

~TANKYU~

谷地南部小学校

校内研究だより

2023. 5. 19

No.11 文責 伊藤

寛容な声かけの大切さ

17日の放課後。6年生がモンテディオ山形の応援に行き、4・5年生だけで運動会準備活動をしていた時でした。120周年記念種目係の子ども達と活動内容の確認を行った後、私は他の係の活動を見に回って、様子を写真に収めていました。秀樹先生がモンテの試合に引率されていたので、応援団担当は菅野先生だけです。両軍の活動を優しいまなざしで静かに見守っていた先生が、応援練習が一度落ち着いたところで口を開きました。

「4年生の皆さん大丈夫？分かんないことは聞いていいんだよ。」

とても優しいアプローチだなあとと思います。私であれば、

「大丈夫？分かんないことは聞かないとずっと分かんないよ。」

と言ってしまうと思います。「聞いていいんだよ」という許容の態度と「聞かないとだめだよ」という追い込むような否定の態度では、子どもに与える印象や安心感が大きく違うのだと思います。そんな担任の先生と一緒に学んでいる5年生は、とても活き活きと活動をリードしてくれていました。そんな5年生の姿に追いつけるように、4年生も自ら考えて行動し活動を楽しめる子ども達を目指します。

